

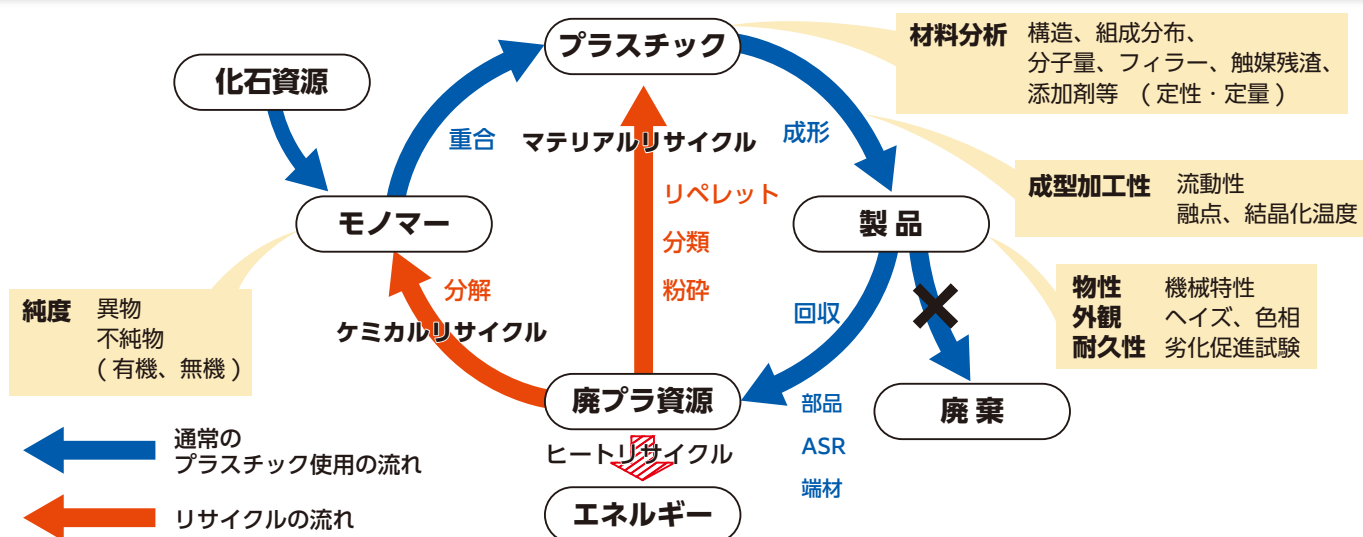
リサイクル材料の総合解析

－ 部材から製品まで －

循環型社会構築や環境負荷低減の観点から樹脂材のリサイクルが推進されている。リサイクル材は同種のものであっても使用環境の影響を受けて、組成や物性が新品とは異なっている可能性があり、成形性にも影響を及ぼす。よって、リサイクル材の使用に際しては、組成や物性等を詳細に調べておくことが重要である。三井化学分析センターは多様化する樹脂リサイクル市場に対応する。

▶ 循環型リサイクルフロー

Circulation Type Recycling Flow



▶ 分析・物性 評価方法一覧

The List of Analytical Methods and Tests

	評価項目	評価方法
組成分子量	構造	FT-IR、NMR
	分子量分布	GPC、高温 GPC
	組成分布	TREF、CEF、TGIC (ポリオレフィン用高温クロマト手法)
	添加剤	FT-IR、GC/MS、GC-FID、LC/MS、HPLC、酸化誘導時間
	触媒残渣、フィラー	ICP-AES、ICP-MS、XRF、FT-IR
成型加工性	流動性	キャピラリーレオメータ、MFR、固有粘度
	融点、結晶化温度	DSC、Flash DSC
物性	機械特性	アイゾット、シャルピー、引張、高速面衝撃
外観	黄変など	ヘイズ、色相
異物	形態、組成、元素	顕微鏡、FT-IR、SEM-EDS、ラマン、XRD
耐久性	劣化促進試験	耐候性、熱老化、クリープ、疲労など

